

2024年11月11日

報道関係各位

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会(JCSSA)

〒100-6208 東京都千代田区丸の内1-11-1

パシフィックセンチュリープレイス丸の内(受付13階)

Tel: 03-6860-8254

<https://www.jcssa.or.jp/>

連絡先 Email: tmikanohara@jcssa.or.jp

セキュリティとデジタルトランスフォーメーションへの取り組み状況に関する 調査研究中間報告(中小規模企業対象)

一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会(会長 林宗治)は、2024年9月から10月にかけて、セキュリティとデジタルトランスフォーメーション(DX)への取り組み、およびシステム基盤の整備状況について調査を実施した。調査対象は以下の通りで、最終報告書は2025年3月中旬に当協会ホームページで発表予定だが、ここに中間報告として中規模・小規模一般企業を対象とした調査結果の概要をお知らせする。

調査対象企業:

従業員350人以下の一般企業700社、および当協会会員の顧客企業332社(従業員21~2000人程度)。但し、会員顧客企業のデータは現在集計・分析中である。一般企業では、従業員2~20人の小規模企業50%、21~350人の中規模企業50%の構成比をターゲットとした。

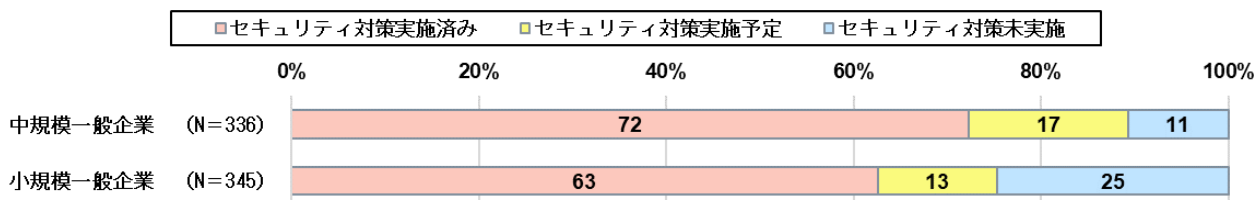
従業員数	2~5人	6~20人	21~50人	51~100人	101~350人	351~1000人	1001人以上	平均
対象企業数								
中規模一般企業	350社		114	99	137			116.0人
小規模一般企業	350社	173	177					7.4人

- 中規模一般企業の11%、小規模一般企業の25%はセキュリティ対策が未実施
- セキュリティ対策「生成AIのガイドライン整備」の運用は4割にとどまる
- 「DXは必要」とする企業が中規模一般企業で増加
- DXに使うデジタル技術の上位は「クラウド」、「生成AI」
- DXの成果では、「既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める」が高い
- パソコンのOSではWindows11が半数だが、いまだ3割強がWindows10を利用
- タブレットのOSでは、小規模一般企業でiOSでは大きく増加

中規模一般企業の 11%、小規模一般企業の 25%はセキュリティ対策が未実施

セキュリティ対策は、中規模一般企業で 89%、小規模一般企業で 76%が実施済みまたは実施予定であるが、対策未実施の企業が、中規模一般企業で 11%、小規模一般企業で 25%あり、今後のセキュリティ問題が発生した場合に課題となると思われる。

【セキュリティへの取り組み状況】

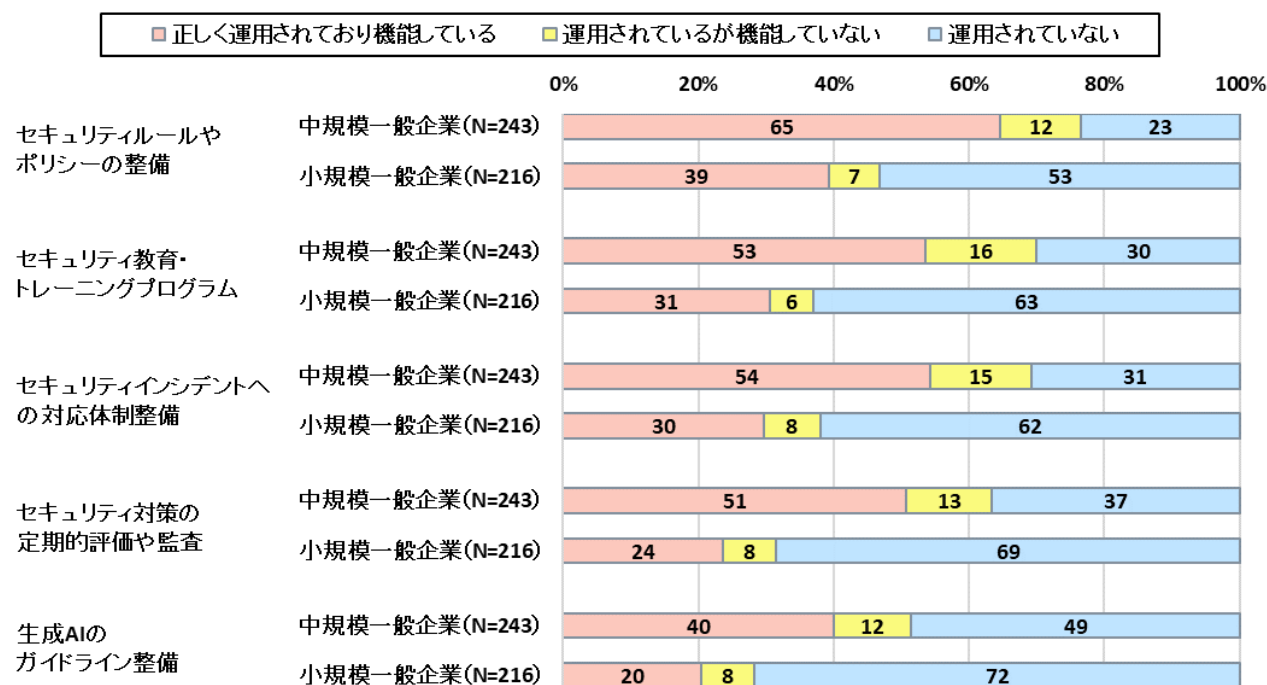


セキュリティ対策「生成 AI のガイドライン整備」の運用は 4 割にとどまる

セキュリティ対策の具体的実施状況では、中規模、小規模の一般企業合計で見ると、「ルールやポリシーの整備」が 6 割を超え進んでおり、「生成 AI のガイドライン整備」は 4 割の運用状況にとどまる。

5 つの具体的施策について、中小の企業規模別で見ると、具体施策すべてにおいて、中規模一般企業が小規模一般企業に比べ運用が先行している結果であった(約 30%の差)。

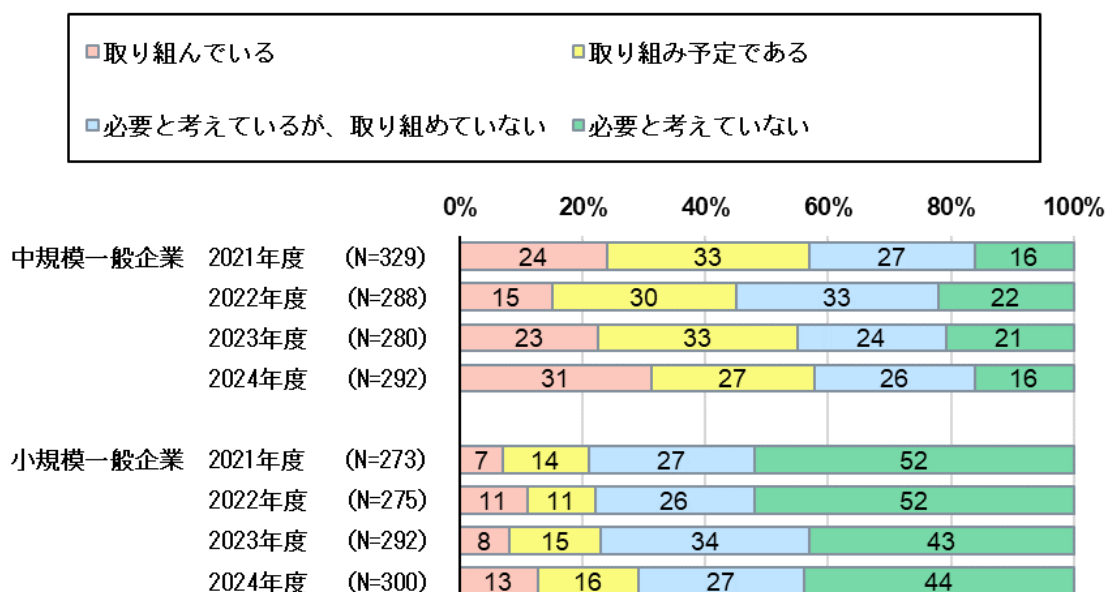
【セキュリティ対策の実施状況】



「DX は必要」とする企業が中規模一般企業で増加

「DX は必要」（「取り組んでいる」、「取り組み予定である」、「必要と考えているが、取り組めていない」の合計）と考えている中規模一般企業は、2022 年度以降、わずかながら増加している（「取り組んでいる」だけで見ると大きく伸びている）。他方、「DX は必要」と考えている小規模一般企業は、2022 年度から 2023 年度では大きく伸びたものの、2023 年度から 2024 年度では、大きな変化は見られない。

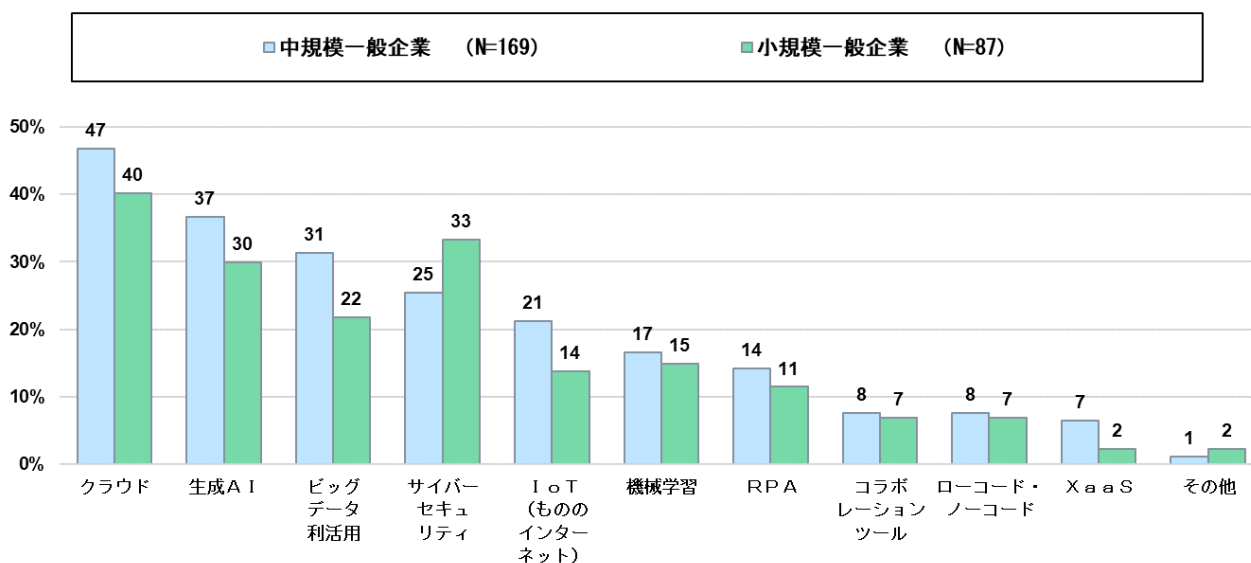
【DX への取り組み状況】



DX に使うデジタル技術の上位は「クラウド」、「生成 AI」

DX に使うデジタル技術では、中規模一般企業で「クラウド」が 47%、「生成 AI」が 37%、「ビッグデータ利活用」が 31%であった。小規模一般企業では「クラウド」が 40%、「サイバーセキュリティ」が 33%、「生成 AI」が 30%であった。小規模一般企業では、「サイバーセキュリティ」の割合が高いことが特徴として表れている。

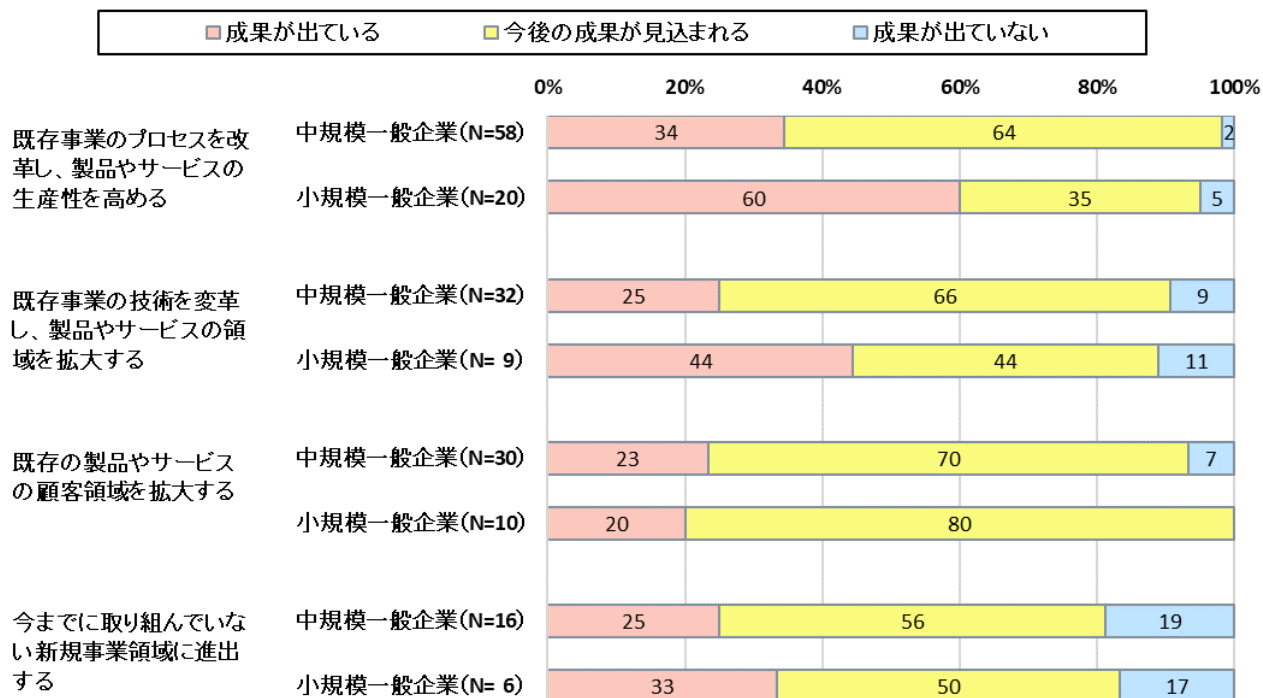
【DX に使うデジタル技術 (DX に取り組み中または取り組み予定企業)】



DX の成果では、「既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める」が高い

DX に取り組んだ結果、「既存事業のプロセスを改革し、製品やサービスの生産性を高める」が最も成果が出ている。「今までに取り組んでいない新規事業領域に進出する」については、8割程度の成果にとどまっている。

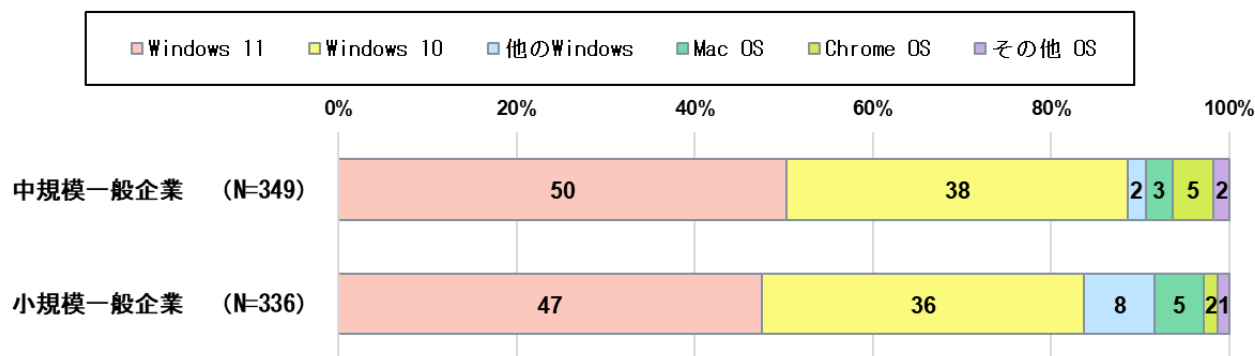
【DX に取り組んだ結果】



パソコンの OS では Windows11 が半数だが、いまだ 3 割強が Windows10 を利用

最新のパソコン OS である Windows11 の利用率は、中規模一般企業が 50%、小規模一般企業が 47%と半数を占めている。Windows10 の利用率は、3 割強であり、Windows10 のサポート期間(2025 年 10 月 14 日)が1年を切ったなかでも高い割合である。

【パソコン OS の利用率(台数ベース)】



タブレットの OS では、小規模一般企業で iOS では大きく増加

タブレットの OS では、中規模一般企業において Chrome OS のシェアが前年に比べ 9 ポイント増加しており、Android のシェアは減少している。

小規模一般企業において iOS のシェアは前年に比べ 20 ポイント増加しており、Android、Windows のシェアは減少している。

【タブレットの OS 別シェアの推移(台数ベース)】

